



いきいきわがまち やなぎはら

やなぎくん

令和4年9月15日発行 発行責任者 柳原地区住民自治協議会 会長 花岡 義明 第120号

◆ やなぎはら探検隊 まち歩き 鎌倉殿と善光寺

長野駅を出発し、ガイドさんの説明を聞きながら、善光寺へ



10月 1日（土） 9：00

集合場所 長野駅観光情報センター前 内陣参拝料600円

参加希望の方は、お電話ください。 ☎217-2365
締め切り 9月20日

大河ドラマで注目の源頼朝と善光寺の関わりや、焼失前の善光寺が東向きだったこと。まだまだ知らないことがいっぱい。小学生の参加大歓迎！

◆ 第72回社会を明るくする運動

#生きづらさを生きていく

10月15日（土） 10：00～11：00

中俣北公民館

DVD視聴『更生保護～立ち直りを支える地域のチカラ～』

(30分)

◆ 折り紙で季節の飾りを作ろう

10月 4日（火）

10：00～12：00

柳原交流センター 和室にて
時間内でしたらいつでも入室



申込みなし
どなたでも参加できます。
お出かけください。



◆ ナイトスクール

夜道はとっても危険

夜間の歩行者はどのように見えるかな？

10月12日（水） 18：00～

柳原総合市民センター 駐車場にて



◆ 9月はあいさつ運動強化月間

朝の時間帯にあいさつ運動を実施します。

みんなで気持ちの良いあいさつをしましょう！！

あいさつが交わされる事により犯罪の起こりにくい地域づくりにつながります

◆ 新しいまちづくりの計画の概要をお知らせします。 見開きページをご覧ください。

イベントカレンダー

月	と き	時 間	イ ベ ント	と こ ろ	備 考
10	1日（土）	9：00～	やなぎはら探検隊 まち歩き	長野駅観光情報センター前 集合	申込
	22日（土）	8：30～	秋のクリーンデー	柳原交流センター	

◆ 秋のクリーンデー

美しい環境をつくるため自宅周辺の道路や
植え込み等をきれいにしましょう。

10月22日（土）8：30～

柳原総合市民センター 集合

持ち物 剪定はさみなど

植栽・剪定等を行います。

どなたでも参加できます。



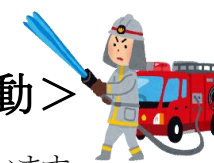
◆ 10月は『ごみ分別強調月間』 ごみの分別・リサイクルにご協力下さい。

この機会にもう一度、ごみの分別や出し方を見直しましょう。

● 長野市消防団 柳原分団より

9月17日から9月23日

<高齢者を火災から守る運動>



長野市消防団では年間を通して火災・災害救護活動とともに、火災予防運動を行っています。
消防積載車にて広報活動を随時行っています。ご協力をお願いします。

◆ 人権男女共同参画セミナー

<“あいとぴあ”さんかくセミナー第3回>をオンラインで受講

10月1日（土）13：30～15：30

柳原総合市民センター 支所会議室

ジェンダーと政治『ケアの視点から民主主義を考える』

講師：岡野八代さん（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授）

* 定員10名 申し込みが必要

◇◇◇ お問い合わせ ・ 申し込み ◇◇◇

〒381-0017

長野市大字小島804-5

柳原総合市民センター内



柳原地区住民自治協議会 事務局 ☎217-2365

月曜日～金曜日 9:00～14:00 お気軽にお立ち寄りください

Y's えいご教室

050-1393-5937

対象 年中～中学生まで★**まずは無料体験レッスン**★朝陽小すぐそば

相続 遺言 不動産・会社法人登記等手続き

柄澤 定夫 司法書士事務所

〒381-0012 長野市大字柳原2317番地25

TEL 026-295-1758 FAX 026-266-0958

URL <http://www1.odn.ne.jp/shiho-karasawa/>

はつらつ・げんき・ささえる

達者がなにより（健幸づくり）

体操やウォーキングで心身ともに健やかであることが幸せ＝健幸（けんこう）
めざせ善光寺 てくてく健康づくり

足は第二の心臓

外に出て、道路や公園を歩いたりすることで、心と体を健康に。

体操やウォーキングは、特別な器具も必要なく、誰でもいつでも取り組むことができます。

善光寺まで歩いていくことを目標に、仲間と一緒に少しずつ歩く距離を延ばしましょう。

ウォーキングマップの作成

柳原の四季折々の季節を楽しみながら歩く。

コースも距離別や体力別で複数用意し、誰でも取り組みやすいよう工夫します。

仲間づくり、自主グループに発展することで居場所づくりにつなげます。



健康講座

健康に関する学びの場を設けます。座学あり、体験あり。

「おうち」の扉を少し開けよう！

支援の必要な方と、助ける方、お互いに顔と顔が見え、心の交流が出来るよう関係づくり進めます。

『助けてほしい』ことを声に出して、お願いできる自分に、『助けてほしい』と言われたら、進んで手伝えるような自分になって、おたがいさまの精神でやれる人ができることをやる地域にしていきましょう。

雪かき・ゴミ出し・お話しボランティア

ニーズ調査からたすけあいの仕組み作り

アンケートの実施、困っている方の調査。助けてくれる方についても調査をし、助けてくれる方をどう

コーディネートするのか、どのような仕組みがいいのかを検討します。

ボランティアの養成

講座を実施し、地区内のボランティア意識を高めます。



誰もがみんな認知症サポーター

認知症サポーター講座の開催

高齢化が進み、認知症になる人も増えてきています。認知症について正しい知識を身につけましょう。

企業や学校とも連携し、認知症の方も地域の中で自然に暮らせる地域を目指します。

居場所づくり

本人や家族も地域のだれもが気軽に集える場をつくります。



地域支え合い活動（生活支援体制整備）

誰もがいきいきと自分らしく暮らせる柳原にするために

どんな地域にすればいいかを話し合う場をつくります。

地域で暮らす

健康寿命を延ばし、できるだけ地域で暮らすために

体も心も健康になるよう、歩くこと、話をするのが大事です。

居場所づくり

気軽に行ける場所

気軽に誰かと話しができるところが3つくらいあることが大事です。

自分の好きなことをいっしょにやれる仲間がいることが大事です。

つながる・あつまる

地域の輪・和

何時でも誰かがいる居場所、誰でも来ていい居場所を作り、色々な人がいる、色々な活動が生まれて、またそこへ人が集まって来られるような場づくりをします。

ほっとリンクステーション

気軽に集まれる場所 ホットとできるところをつくりましょう。家庭・職場・学校、そして第3の居場所。

公民館は、縁側・学び舎

興味・関心のあること、趣味で人と人がつながる。地域公民館を人が集まる縁側にしましょう。地域公民館を様々な学びができる場所にしましょう。得意なことを教える人と学びたいひとが集まる場。

65歳はターニングポイント

65歳集まれ

ゆるーく集まって、同窓会感覚で仲間づくりの機会をつくります。

将来的には知識と経験を活かして

地域を盛り上げるボランティア活動を期待します。

区界ウォークや用水巡りなどを
実施してきました。
65歳にこだわらず、やってみたい
ことをワイワイみんなで始め
ませんか？

人財（人材）発掘、できます・やります 宝の山の発掘

何か役に立ちたい、持っている技術を活かしたいと思っている人を、発掘・募集して活用していきます。

地域情報の発信力向上

ICTの利用促進

災害時の情報発信・情報収集を見据えて、ホームページを充実し、地域情報のデータ化を促進し、各事業に生かせるようにします。

※ ICTとは、情報通信技術 Information&Communications Technologyの略



『住民ひとり一人が主人公になれるまち』を目指します！

これは、＜まるごと・わがこと＞地域共生社会の考え方です。

高齢化や人口減少が進み、地域や家庭での人と人とのつながりが弱まる中、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会としていくことが求められています。また、担い手の減少、地域社会の存続への危機感が生まれる中、地域社会全体を自分たちで支えていくことが、重要となっています。

社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」

「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超え『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をそこに暮らすみんなで創っていくことを地域共生社会といいます。